**３．自社におけるアピールポイント**

取組調査票について、貴社が一番力を入れている取組、応募にあたってのアピールポイントを別紙「記入の観点」を参考に、具体的にお聞かせください。

|  |
| --- |
| 【取組を始めた背景・課題】  【目指した姿(指針)に対するトップの考え方・意欲・熱意や推進体制】  【特徴的な取組内容】  【成果】 |

**記入の観点**

応募にあたり**貴社の「アピールポイント」等について具体的に**ご記入ください。第一次審査（書面審査）で活用させていただきますので、次のような各項目ポイントに沿って、**できるだけ具体的・詳細に**ご記入願います。形式は問いません。各項目について必要に応じて参考となる資料等の別紙をつけていただいても結構です。

**【背景・課題について】**

* ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進の必要性が生じた背景や課題はどのような内容で、その課題を解決するために実現しようとした具体的な目標はどのような内容だったか。

|  |
| --- |
| 例）人材確保、人手不足の解消（全社員における女性社員数の割合増、時間外勤務の削減、  職域の拡大、テレワークの導入、再雇用制度の拡張など） |

**【目指した姿(目標等)に対するトップの考え、推進体制について】**

* ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の推進、課題解決のために、どのような体制で取り組んだか。また、経営トップの考え方や関わり方はどうであったか。

|  |
| --- |
| 例）社長方針・事業方針として明文化、「推進チーム」を結成し経営陣に上申できる体制を  確立したなど |

**【特徴的な取組内容について】**

* 従業員の働きがいや働きやすさを高めるため、どのような取組を実施したか、御社の特徴が分かるよう、より具体的・詳細に記載してください。

（当たり前のように慣行されていることが、見方を変えると先進的な取組であると気付かされたことはないか。）

|  |
| --- |
| 例）学校行事への参加（年次休暇の取得率、行事への参加率など）  子育て・介護世代への柔軟な勤務体制（短時間、出退勤時間を柔軟に調整など）  ワークシェアを導入（担当者の負担軽減を目的に非正規の増員、活用など） |

**【成果について】**数値化できるものは具体的数値を、できないものは事例等をお示しください

* 取組により、顧客満足や業績あるいは生産性の向上など、どのような成果が現れたか。
* 取組効果が特定の対象に限定されず、他の組織においても模範となるなど、波及効果が期待されるかどうか。

|  |
| --- |
| 例）取組を行うことで、時間外勤務○○％から○○％に削減、女性割合が３年で○○増、  女性管理職・役職者数が○人増加、離職率○○％から○○％へ改善、業界内で先進企業として取り上げられた、社内アンケート等で従業員満足度が○％上がった　など  　顧客満足度や業績の向上など経営面でも好循環が生まれていると感じる　など |